

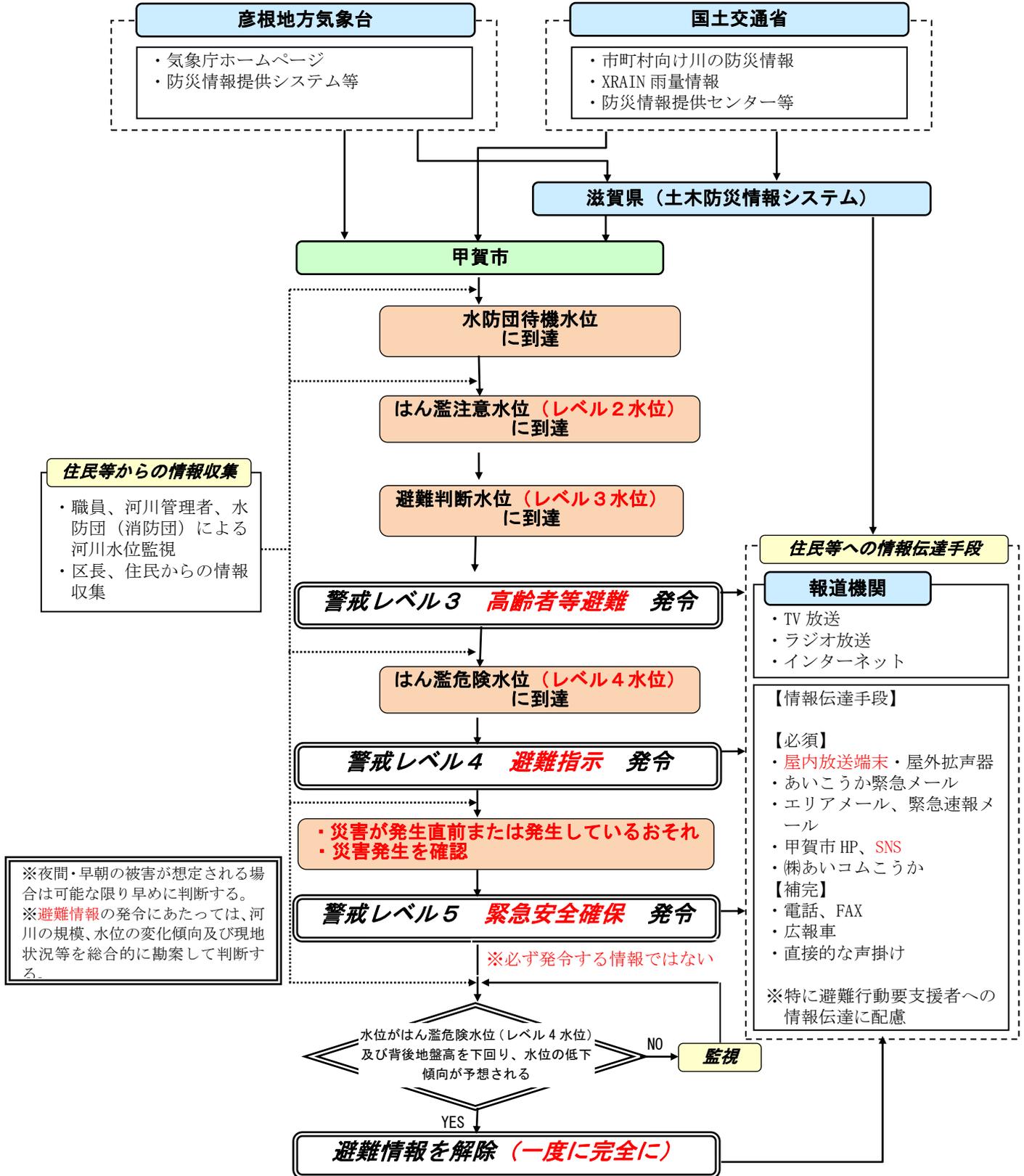
○ 避難情報の発令マニュアルの見直し

【新】

3. 避難情報の判断・伝達 フロー

大雨注意報や大雨警報、洪水予報などの気象情報をきっかけに災害配備体制が確立された際、概ね以下の流れで避難情報の発令を判断し、その情報を伝達する。

(1) 洪水等

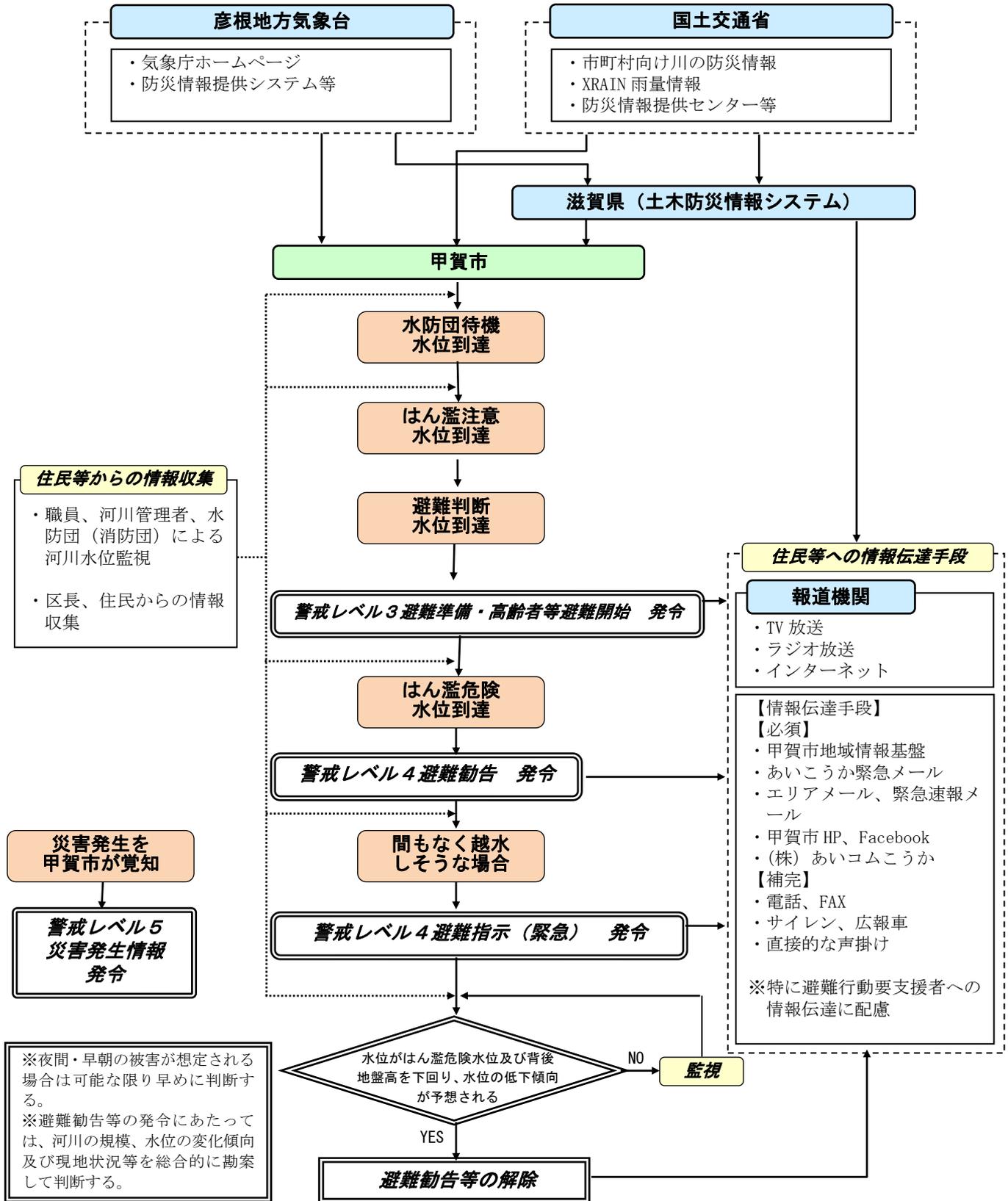


避難情報の判断・伝達フローの概略イメージ (洪水等)

3. 避難勧告等の判断・伝達フロー

大雨注意報や大雨警報、洪水予報などの気象情報をきっかけに災害配備体制が確立された際、概ね以下の流れで避難勧告等の発令を判断し、その情報を伝達する。

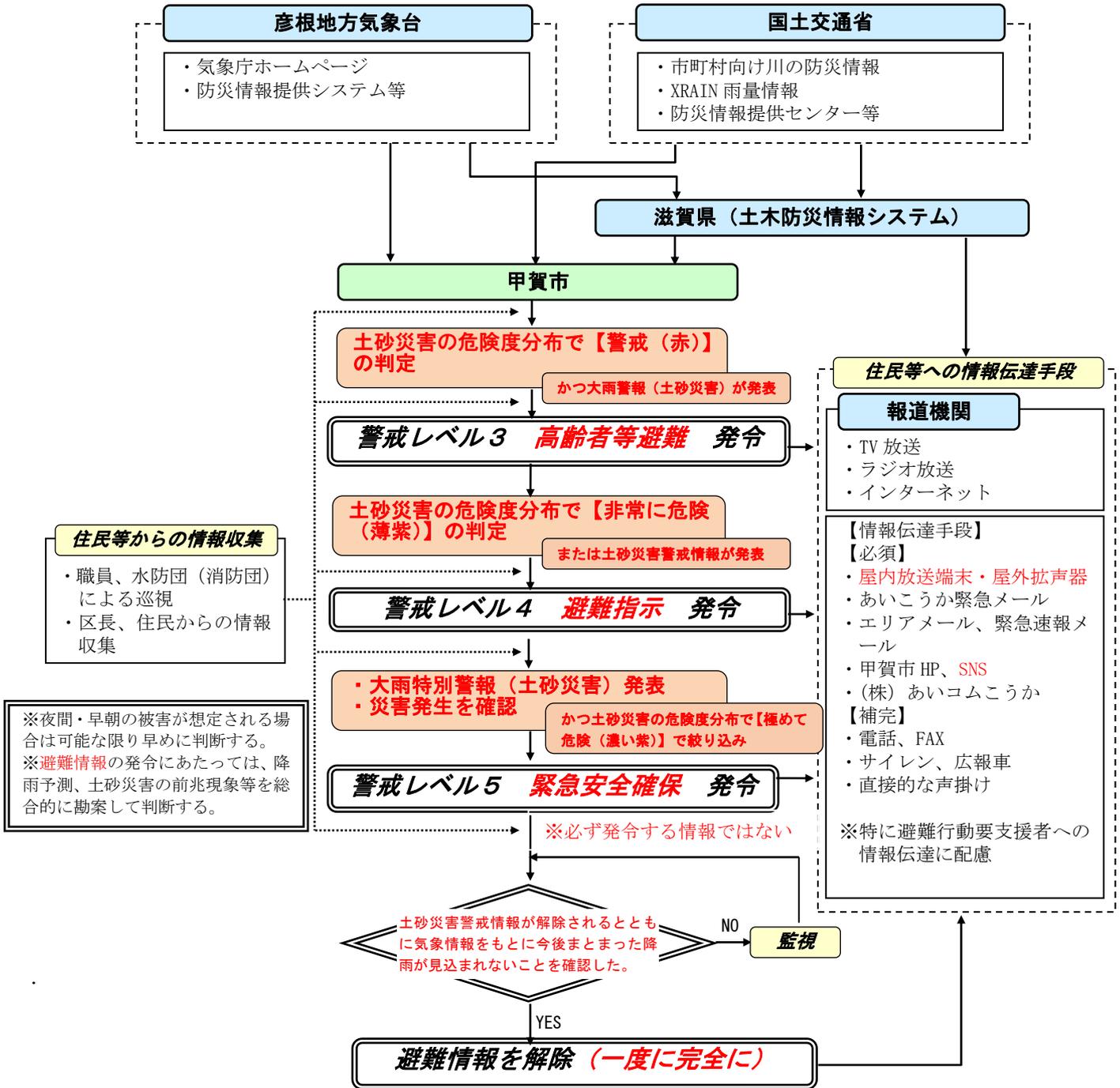
(1) 水害



避難勧告等の判断・伝達フローの概略イメージ (水害)

【新】

(2) 土砂災害



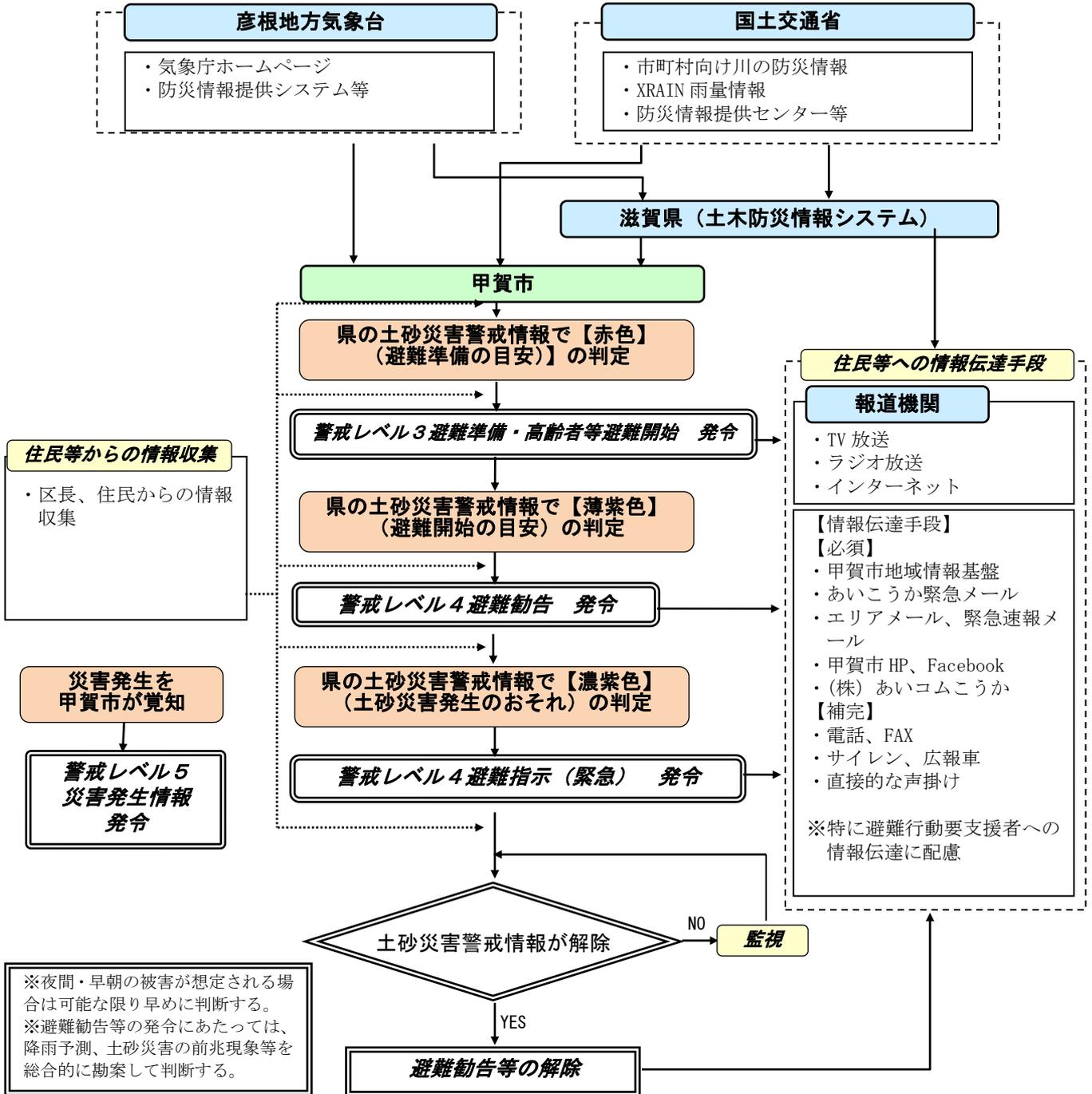
特に土砂災害は予測が困難なこと、災害発生時には甚大な被害が生じてしまう可能性があること等を勘案し、**避難情報**の判断にあたっては以下に留意する。

- ・重要な情報については、情報を発表した気象官署及び関係機関等と市が積極的に情報交換を行うこと。
- ・想定を超える規模の災害が発生することや、想定外の事象が発生することもあることから関係機関との情報交換を密に行いつつ、降雨の状況や前兆現象が発生していないか等、広域的な状況把握に努めること。
- ・土砂災害の前兆現象等、巡視等により市が収集する現地情報、レーダー観測でとらえた強い雨の地域、避難行動の難易度等、必ずしも数値等で明確にできないものも考慮しつつ、総合的な判断を行うこと。

避難情報の判断・伝達フローの概略イメージ (土砂災害)

【旧】

(2) 土砂災害



※夜間・早朝の被害が想定される場合は可能な限り早めに判断する。  
 ※避難勧告等の発令にあたっては、降雨予測、土砂災害の前兆現象等を総合的に勘案して判断する。

特に土砂災害は予測が困難なこと、災害発生時には甚大な被害が生じてしまう可能性があること等を勘案し、避難勧告等の判断にあたっては以下に留意する。

- ・重要な情報については、情報を発表した気象官署及び関係機関等と市が積極的に情報交換を行うこと。
- ・想定を超える規模の災害が発生することや、想定外の事象が発生することもあることから関係機関との情報交換を密に行いつつ、降雨の状況や前兆現象が発生していないか等、広域的な状況把握に努めること。
- ・土砂災害の前兆現象等、巡視等により市が収集する現地情報、レーダー観測でとらえた強い雨の地域、避難行動の難易度等、必ずしも数値等で明確にできないものも考慮しつつ、総合的な判断を行うこと。

避難勧告等の判断・伝達フローの概略イメージ（土砂災害）